☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂☂☂☀☀☀☀☀☀☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂☂☂☀☀☀☀☀☀☆☆☆☆☆☆☂☂☂☂

江別ユネスコ協会事務局だより　2021年3月29日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町24-6 教育委員会生涯学習課内(担当:見上☎381-1069)

日ユ連盟の「北海道ブロック代表者会議」はオンラインで開催！

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年各地ユネスコ協会で行われている諸活動が延期や中止になっており、さらに全国大会、ブロック研究会なども中止となり、会員が集い、研鑽を積む機会が大きく失われています。こうした状況の中で、日本ユネスコ協会連盟は、各ブロック内の横の連携を継続し、今後のブロック内の活動のあり方を検討する目的で「ブロック別代表者会議」を、日ユ連盟の主催で、オンライン会議で開催することにしました。

北海道ブロックの代表者会議は、2021年1月28日（木）14：00～15：30に開催され、連盟事務局からは、鈴木佑司理事長、川上千春事務局長、関口博隆事業部長、尼子美博副事業部長ほかが出席しました。北海道ブロックからは、道ユネスコ連協の役員、各地ユネスコ協会の代表者、各ユ協の事務担当者が出席し、江別ユ協からは、押谷会長、田村副会長、事務局の見上氏が出席しました。会議の内容は、ブロック研究会の開催計画、各地ユ協の活動状況、組織内デジタル化の推進、全国大会の開催地輪番制への対応、その他でしたが、短時間の割に中身の濃い会議でした。

今年の全道大会は小樽ゴールドストーン（旧渋沢倉庫）が会場です

昨年10月に予定されていた第54回北海道ユネスコ大会（兼ブロック研究会）は、2021年10月9日（土）に、主管協会である小樽ユネスコ協会の尽力により、小樽ゴールドストーンを会場にして開催される見込みとなりました。新型コロナ感染症の蔓延が下火になることが、条件だと思われます。1月28日のブロック代表者会議の席上、昨年小樽ユ協の会長に就任した原田氏から、準備状況が報告され、小樽商大の穴沢真学長に、SDGｓについての基調講演を依頼したそうです。

会場になるゴールドストーンの旧所有者は、NHK大河ドラマの主人公・渋沢栄一が明治30年に創業した渋沢倉庫（株）ですから、話題性もありますので、開催が実現した際には、ユネスコ会員、教育関係者、一般市民の皆様の多数のご出席をお願いします。参加申込み方法は、道ユ協から「開催要項」が届き次第、江別市内の参加希望者については、江別ユネスコ協会事務局でまとめて申し込むことになりますので、ご了承ください。申込み受付の時期は、8月下旬を予定しています。

無形文化遺産に推薦中の「風流踊」に４件を追加、推薦し直し！

国の文化審議会は、2021年2月12日、すでに無形文化遺産としてユネスコに推薦をしていた「風流踊（ふうりゅうおどり）」（37件）を取り下げ、新たに4件を追加して、合わせて41件の無形文化財を改めて「風流踊」として再推薦することに決めました。2021年3月末日までに再推薦しますから、ユネスコの登録審査は、2022年11月ころになります。

新たに加えられた4件は、新野の盆踊（長野県）、寒水の掛踊（岐阜県）、対馬の盆踊（長崎県）、野原八幡宮風流（熊本県）です。日本の無形文化遺産は、歌舞伎、能楽、人形浄瑠璃文楽、和食、伝統建築工匠の技など22件です。（2020年12月現在）

日本ユネスコ協会連盟の機関紙「ユネスコ」をご覧ください

日本ユネスコ協会連盟は、機関誌「ユネスコ」を年3回、同連盟のホームページにWeb掲載しています。日ユ連盟の事業内容、各地ユネスコ協会の活動内容などが詳しく載っています。ぜひ定期的にご覧ください。※江別ユ協の「事務局だより」はWeb「コラボのたね」に載っています。